

Table with 10 columns: 評価の観点・目標指標, 判断基準, 判定基準, 回答者, H27年度(%), H26年度(%). Rows include '2年保護者' and '3年保護者' regarding participation in school activities.

< 3 進路指導 >

Large table for '進路指導' (Career Guidance) with 10 columns. It details various indicators like '進路の観点・目標指標', '判断基準', '判定基準', '回答者', and scores for H27 and H26 across different grade levels (1st to 3rd year students and parents).

< 4 保健 >

Table for '保健' (Health) with 10 columns. It covers indicators such as '健康面等配慮が必要な生徒の把握・対応', '健康診断結果', '生徒への健康管理', and '清掃の指導'. It includes scores for H27 and H26 and identifies improvement areas.

評価項目	評価内容	判断基準	回答者	H27年度 (%)				H26年度 (%)			
				割合	A(十分)	B(やや)	C(満足)	割合	A(十分)	B(やや)	C(満足)
校内外の環境美化が A よく行っている。 B ほぼ行っている。 C あまり行っていない。 D 全く行っていない。	校内外の環境美化が A よく行っている。 B ほぼ行っている。 C あまり行っていない。 D 全く行っていない。	回答者のAまたはBと判断した割合が80%未満の場合は、取組体制を再検討する。	2年保護者	A 27.1	95.0	97.4	94.2	94.2	94.2		
				B 67.8							
				C 5.0							
校内外の環境美化が A よく行っている。 B ほぼ行っている。 C あまり行っていない。 D 全く行っていない。	校内外の環境美化が A よく行っている。 B ほぼ行っている。 C あまり行っていない。 D 全く行っていない。	回答者のAまたはBと判断した割合が80%未満の場合は、取組体制を再検討する。	3年保護者	A 31.1	97.4	97.4	94.4	94.4			
				B 66.3							
				C 1.6							
悩みを持つ生徒への対応に学校全体で取り組む。	悩みを持つ生徒への対応に A 積極的に取り組んだ。 B おおむね取り組んだ。 C あまり取り組まなかった。 D 取り組まなかった。	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合は、取組体制を再検討する。	教職員	A 46.7	95.0	95.0	89.8	89.8			
				B 48.3							
				C 5.0							
本校は悩みなどを相談しやすい環境が整っている。	私は、本校に悩み事を相談しやすい人(先生、友人など)が A いて満足している。 B いておおむね満足している。 C あまりいなくてや不満である。 D 全くいなくて不満である。	回答者のAまたはBと判断した割合が80%未満の場合は、取組体制を再検討する。	1年生徒	A 37.2	86.8	86.8	85.5	85.5			
				B 49.8							
				C 11.8							
本校は悩みなどを相談しやすい人(先生、友人など)が	私は、本校に悩み事を相談しやすい人(先生、友人など)が A いて満足している。 B いておおむね満足している。 C あまりいなくてや不満である。 D 全くいなくて不満である。	回答者のAまたはBと判断した割合が80%未満の場合は、取組体制を再検討する。	2年生徒	A 35.5	87.7	87.7	87.6	87.6			
				B 52.2							
				C 9.6							
本校は悩みなどを相談しやすい人(先生、友人など)が	私は、本校に悩み事を相談しやすい人(先生、友人など)が A いて満足している。 B いておおむね満足している。 C あまりいなくてや不満である。 D 全くいなくて不満である。	回答者のAまたはBと判断した割合が80%未満の場合は、取組体制を再検討する。	3年生徒	A 37.0	90.2	90.2	91.7	91.7			
				B 53.2							
				C 8.4							
※子どもは、明るく充実した学校生活を送っている。	※私は、本校の悩みをかかえている生徒への取組みに A 十分満足している。 B おおむね満足している。 C あまり満足していない。 D 満足していない。	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合は、取組体制を再検討する。	1年保護者	A 11.9	91.9	91.9					
				B 80.0							
				C 8.1							
※私は、本校の悩みをかかえている生徒への取組みに	A 十分満足している。 B おおむね満足している。 C あまり満足していない。 D 満足していない。	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合は、取組体制を再検討する。	2年保護者	A 11.1	86.1	86.1	89.7	89.7			
				B 75.0							
				C 12.5							
※私は、本校の悩みをかかえている生徒への取組みに	A 十分満足している。 B おおむね満足している。 C あまり満足していない。 D 満足していない。	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合は、取組体制を再検討する。	3年保護者	A 12.6	91.1	91.1					
				B 78.5							
				C 8.2							

< 5 庶務 >

評価項目	評価内容	判断基準	回答者	H27年度 (%)				H26年度 (%)			
				割合	A(十分)	B(やや)	C(満足)	割合	A(十分)	B(やや)	C(満足)
PTA総会や学級懇話会の充実に取り組む。	私は、PTA総会の準備や学級懇話会への取組みが A 十分であった。 B おおむね十分であった。 C やや不十分であった。 D 不十分であった。	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合は、取組体制を再検討する。	教職員	A 25.3	89.1	89.1	94.3	94.3			
				B 63.0							
				C 7.3							
PTA総会や学級懇話会の出席者数を確保する。	私が担任しているクラスのPTA総会や学級懇話会の出席者数が A クラスの保護者数の90%以上であった。 B クラスの保護者数の80%以上、90%未満であった。 C クラスの保護者数の70%以上、80%未満であった。 D クラスの保護者数の70%未満であった。	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合は、取組体制を再検討する。	教職員	A 54.2	79.2	79.2	87.0	87.0			
				B 25.0							
				C 20.8							
本校のPTA総会や学級懇話会の取組みに満足している。	本校のPTA総会や学級懇話会のあり方に A 十分満足している。 B おおむね満足している。 C あまり満足していない。 D 満足していない。	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合は、取組体制・方法を再検討する。	1年保護者	A 20.5	96.4	96.4	98.6	98.6			
				B 75.9							
				C 3.3							
本校のPTA総会や学級懇話会の取組みに満足している。	本校のPTA総会や学級懇話会のあり方に A 十分満足している。 B おおむね満足している。 C あまり満足していない。 D 満足していない。	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合は、取組体制・方法を再検討する。	2年保護者	A 24.4	96.9	96.4	97.7	97.7			
				B 72.5							
				C 2.4							
本校のPTA総会や学級懇話会の取組みに満足している。	本校のPTA総会や学級懇話会のあり方に A 十分満足している。 B おおむね満足している。 C あまり満足していない。 D 満足していない。	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合は、取組体制・方法を再検討する。	3年保護者	A 23.6	95.9	95.9	96.4	96.4			
				B 72.3							
				C 3.4							
※学校からの情報提供に満足している。	※PTA(だより)やPTA活動に関する情報提供に A 十分満足している。 B おおむね満足している。 C あまり満足していない。 D 満足していない。	回答者のAまたはBと判断した割合が70%未満の場合は、取組体制・内容を再検討する。	1年保護者	A 15.8	96.0	96.0					
				B 80.2							
				C 4.0							
※PTA(だより)やPTA活動に関する情報提供に	A 十分満足している。 B おおむね満足している。 C あまり満足していない。 D 満足していない。	回答者のAまたはBと判断した割合が70%未満の場合は、取組体制・内容を再検討する。	2年保護者	A 20.3	95.6	95.6	95.7	95.7			
				B 75.3							
				C 4.4							
※PTA(だより)やPTA活動に関する情報提供に	A 十分満足している。 B おおむね満足している。 C あまり満足していない。 D 満足していない。	回答者のAまたはBと判断した割合が70%未満の場合は、取組体制・内容を再検討する。	3年保護者	A 21.8	95.6	95.6					
				B 73.8							
				C 3.4							
進路についての意見交換会や各学年の保護者進路研修会の充実に取り組む。	私は、進路についての意見交換会や各学年の保護者進路研修会への取組みが A 十分であった。 B おおむね十分であった。 C やや不十分であった。 D 不十分であった。	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合は、取組体制・方法を再検討する。	教職員	A 26.3	92.1	92.1	95.6	95.6			
				B 65.8							
				C 7.9							
各学年の保護者進路研修会の出席者数を確保する。	私が担任しているクラスの保護者進路研修会の出席者数が A クラスの保護者数の90%以上であった。 B クラスの保護者数の80%以上、90%未満であった。 C クラスの保護者数の70%以上、80%未満であった。 D クラスの保護者数の70%未満であった。	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合は、取組体制・方法を再検討する。	教職員	A 30.5	87.0	87.0	91.7	91.7			
				B 56.5							
				C 13.0							
進路についての意見交換会での講演や懇話に満足している。	進路についての意見交換会での講演や懇話に A 十分満足している。 B おおむね満足している。 C あまり満足していない。 D 満足していない。	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合は、取組体制・方法を再検討する。	1年保護者	A 19.4	91.7	91.7	93.7	93.7			
				B 72.3							
				C 7.7							
進路についての意見交換会での講演や懇話に満足している。	進路についての意見交換会での講演や懇話に A 十分満足している。 B おおむね満足している。 C あまり満足していない。 D 満足していない。	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合は、取組体制・方法を再検討する。	2年保護者	A 10.2	90.7	90.7	94.0	94.0			
				B 72.5							
				C 8.3							
進路についての意見交換会での講演や懇話に満足している。	進路についての意見交換会での講演や懇話に A 十分満足している。 B おおむね満足している。 C あまり満足していない。 D 満足していない。	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合は、取組体制・方法を再検討する。	3年保護者	A 29.5	94.1	94.1	94.4	94.4			
				B 64.1							
				C 4.2							

< 6 図書情報 >

評価項目	評価内容	判断基準	回答者	H27年度 (%)				H26年度 (%)			
				割合	A(十分)	B(やや)	C(満足)	割合	A(十分)	B(やや)	C(満足)
読書意欲を喚起するために読書の意義や楽しさについて指導する。	私は、機会を捉えて読書の意義や楽しさを A 十分に指導した。 B 時々指導した。 C あまり指導しなかった。 D 全く指導しなかった。	回答者のAまたはBと判断した割合が70%未満の場合は、改善策を検討する。	教職員	A 23.7	74.6	74.6	75.8	75.8			
				B 50.9							
				C 25.4							
図書(第1-第2図書室)の活用状況を把握している。	私は、図書の広報誌(新刊案内)・「今月の本棚」や展示物を、 A 毎月見たり、読んだりした。 B 時々見たり、読んだりした。 C あまり見たり、読んだりしなかった。 D 全く見たり、読んだりしなかった。	回答者のAまたはBと判断した割合が60%未満の場合は、改善策を検討する。	1年生徒	A 4.5	38.7	38.7	44.5	44.5			
				B 34.2							
				C 36.2							
図書(第1-第2図書室)の活用状況を把握している。	私は、図書の広報誌(新刊案内)・「今月の本棚」や展示物を、 A 毎月見たり、読んだりした。 B 時々見たり、読んだりした。 C あまり見たり、読んだりしなかった。 D 全く見たり、読んだりしなかった。	回答者のAまたはBと判断した割合が60%未満の場合は、改善策を検討する。	2年生徒	A 8.5	44.9	41.4	36.3	39.3			
				B 36.4							
				C 32.0							
図書(第1-第2図書室)の活用状況を把握している。	私は、図書の広報誌(新刊案内)・「今月の本棚」や展示物を、 A 毎月見たり、読んだりした。 B 時々見たり、読んだりした。 C あまり見たり、読んだりしなかった。 D 全く見たり、読んだりしなかった。	回答者のAまたはBと判断した割合が60%未満の場合は、改善策を検討する。	3年生徒	A 5.2	40.5	40.5	37.1	37.1			
				B 35.3							
				C 35.9							
子どもは読書に親しんでいる。	私の家庭では、 A 子どもがよく読書していた。 B 子どもは時々読書していた。 C 子どもはあまり読書をしていなかった。 D 子どもはほとんど読書をしていなかった。	回答者のAまたはBと判断した割合が60%未満の場合は、改善策を検討する。	1年保護者	A 19.1	56.8	56.8	49.6	49.6			
				B 37.7							
				C 32.3							
子どもは読書に親しんでいる。	私の家庭では、 A 子どもがよく読書していた。 B 子どもは時々読書していた。 C 子どもはあまり読書をしていなかった。 D 子どもはほとんど読書をしていなかった。	回答者のAまたはBと判断した割合が60%未満の場合は、改善策を検討する。	2年保護者	A 18.1	56.5	53.7	54.0	52.2			
				B 36.4							
				C 32.2							
子どもは読書に親しんでいる。	私の家庭では、 A 子どもがよく読書していた。 B 子どもは時々読書していた。 C 子どもはあまり読書をしていなかった。 D 子どもはほとんど読書をしていなかった。	回答者のAまたはBと判断した割合が60%未満の場合は、改善策を検討する。	3年保護者	A 13.7	47.8	47.8	53.1	53.1			
				B 34.1							
				C 38.1							
年間貸出冊数が増加している。	年間貸出冊数が3,500冊以上であった。	年間貸出冊数が3,000冊を下回った場合、改善策を検討する。	本年度貸出し実数 4029冊	A 115.1	115.1	115.1	150.0	150.0			
				B 4029冊							
				C 115.1							
図書(第1-第2図書室)を利用して読書や資料閲覧、学習活動をしたことがある回数。	私が、読書や資料閲覧・学習活動のための図書(第1-第2図書室)を利用した回数は A 6回以上 B 3~5回 C 1~2回 D 0回	回答者のAまたはBと判断した割合が50%未満の場合は、改善策を検討する。	1年生徒	A 20.7	34.6	34.6	54.6	54.6			
				B 13.9							
				C 41.8							
図書(第1-第2図書室)を利用して読書や資料閲覧、学習活動をしたことがある回数。	私が、読書や資料閲覧・学習活動のための図書(第1-第2図書室)を利用した回数は A 6回以上 B 3~5回 C 1~2回 D 0回	回答者のAまたはBと判断した割合が50%未満の場合は、改善策を検討する。	2年生徒	A 19.4	43.6	37.6	38.7	44.4			
				B 24.2							
				C 38.5							
図書(第1-第2図書室)を利用して読書や資料閲覧、学習活動をしたことがある回数。	私が、読書や資料閲覧・学習活動のための図書(第1-第2図書室)を利用した回数は A 6回以上 B 3~5回 C 1~2回 D 0回	回答者のAまたはBと判断した割合が50%未満の場合は、改善策を検討する。	3年生徒	A 16.3	34.7	34.7	39.8	39.8			
				B 18.4							
				C 32.2							

Table with columns for evaluation items, response counts, and scores. Includes sections for '生徒の情報モラルや情報リテラシーを育成する' and '生徒が積極的に情報機器を利用できる'.

Table titled '< 7 理科 >' with columns for '評価の観点・目標指標', '評価の観点・目標指標', '判定基準', '回答者', and 'H27年度 (%)'. Includes items like '理科のSSH体験を通して、生徒の科学技術への興味関心の醸成を図る'.

Table titled '< 8 研究 >' with columns for '評価の観点・目標指標', '評価の観点・目標指標', '判定基準', '回答者', and 'H27年度 (%)'. Includes items like '※生徒の課題解決に必要な態度や能力を高めることが出来る'.